



成熟社会における持続可能な ランドスケープの創造と実践

～都市における「みどり」に係る研究と実践を地域社会に還元～

都市経営学部都市経営学科 助教 高野 健人

キーワード ランドスケープ、公園緑地、街路樹、都市農地、土地利用マネジメント

該当するSDGs

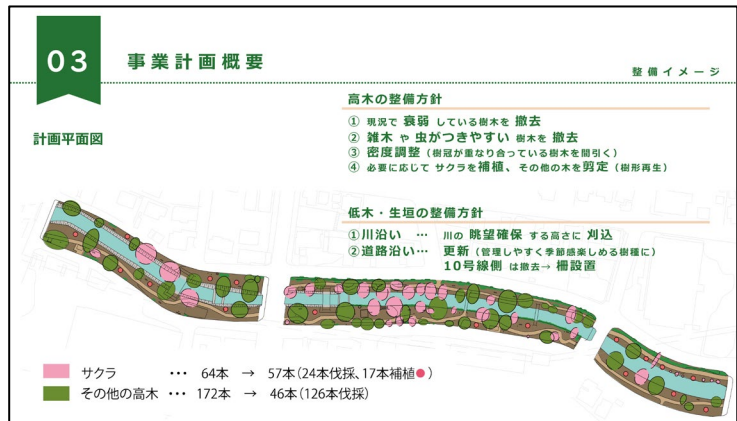


1 研究内容

私の専門分野はランドスケープです。公園緑地や農地などのミクロな視点、景観や自然環境、都市・地方計画などのマクロな視点の双方に目を向けながら、研究と実践に取り組んでいます。

整備から数十年が経過し、施設の老朽化や植栽が想定以上に繁茂することで利用に支障をきたしている公園緑地や街路樹の再生への関与、未活用の行政財産について、ランドスケープの観点から地域住民の生活に役立つ活用方法の提案を行ってきました。

また、人口減少が進む成熟社会において最も空間の変化が大きいのは、非集約エリアと呼ばれる市街地郊外の自然環境と都市的環境の混在するエリアです。地域の衰退と土地利用の混乱により、景観や自然環境の劣化が進行し、近年は災害リスクも高まっています。こうしたエリアにおけるランドスケープのあり方について注目しています。



整備から数十年が経過した都市緑地の再整備計画策定



行政財産の利活用



文化的景観と災害リスク

2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・協働によるパブリックスペースの計画・デザイン・マネジメント
 - … 公園や緑地等の都市におけるパブリックスペースを再生・創出するに当たって、市民や行政、企業との協働による計画策定やデザイン、マネジメントに関する勉強会や支援が可能です。
- ・非集約エリアにおけるランドスケープの保全・再生・創出
 - … 安全かつ安定した食糧や森林資源、再生可能エネルギーの供給源、生物多様性を育む里地里山などの非集約エリアが有する価値の再評価や創出に関する勉強会や支援が可能です。
- ・農住混在市街地(特に市街地縁辺部)における土地利用マネジメント
 - … 既成市街地の衰退と市街地縁辺部のスプロールが無計画に生じ、都市の縮退と膨張が同時進行する事態が生じています。スプロールの抑制と緑地環境の管理に関する勉強会や支援が可能です。